



つくる、つくろう通信

陣内やすこ 八王子市議会議員・無所属

会員募集中

編集：陣内やすこと明日の八王子をつくる会／発行：陣内やすこ(市民自治の会)

〒192-0912 東京都八王子市絹ヶ丘2-11-7 TEL 0426-36-8158 FAX 0426-36-8640

E-mail jinnaiya@mbk.nifty.com URL http://homepage3.nifty.com/jinnaiya/

● 2004年度予算決まる!! (書ききれませんが、一部コメントつきで御紹介します)

ごみの有料化10月より実施。
指定袋の値段

- 5ℓ用(ミニ) 9円
- 10ℓ用(小) 18円
- 20ℓ用(中) 37円
- 40ℓ用(大) 75円

莫大な費用。本当に必要なの？
生活道路ではない。

北西部幹線道路がつくられる(将来)



はちバス東部コース運行はじまる

長期的なごみ減量計画の中での
有料化位置づけが大切。数値目
標、実施計画の具体性がない。
急ぐな!

一方的な民間委託は市民と
の協働の姿勢に反する。

圏央道北インター周辺の
物流拠点化(将来)

中央道インター北周辺地区の
商業地区基盤整備

これって中心市街地の空洞化をさらに
おしすすめるのではないかと。

● JR八王子

新市民会館建設に向けて調査開始

八王子をトラック輸送のまちに
したら、自然が壊れる。高尾山
が泣いている。

上長房分校休校

地域に開かれた学校の実践例を
つぶしていいのだろうか。

再開発ビルと抱き合わせのペデス
トリアンデッキGOサイン!

具体的な計画が見えないところに
予算をつけるのはおかしい。

不登校対策の小中一貫校・高尾山学園開校

入学者 小学校：16人
中学校：103人
(八王子市外の入学者約35%)

地域の子どもひとりひとりへの
対応を大切に! それは校長の権
限を強めることで実施されるわ
けではない。

その他

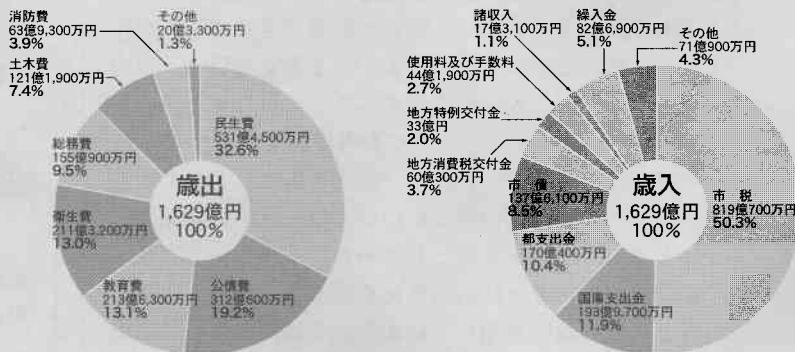
- 八王子駅北口周辺に防犯カメラの設置
- ドメスティック・バイオレンス対策として、緊急一時保護宿泊費助成
- 学力テスト(小6、中1)実施
- 小学校の校舎耐震補強工事の推進(完了は平成18年)中学校は順次着手
- 学童保育の未設置解消
- パークアンドバスライドの整備
- 精神障がい者を対象としてホームヘルプサービス開始など



だれでもトイレがやっとなります

一般会計予算の内訳

(八王子市報3月1日号参照)



予算等特別委員会(予算案に反対しました)

●市民会館建設について



税収減、高い公債比率、増加する扶助費といった厳しい財政運営のなか、市長は予算の提案説明のなかで、「市民の視点」、つまり市民が行政に何を求めているかという観点と「コスト意識」、つまり経費に見合った効果が得られるかという観点から16年度予算を編成したと述べています。この場合、「市民の視点」とは、高齢化が進んできていること、また、障がいがあってもなくても地域のなかで誰もが安心して暮らせる仕組みが必要であること、男性も女性も共に性によって差別なく人権が保障されること、安心して子育てのできる環境が求められていること、などに配慮する視点であると考えます。また「コスト意識」というならば、投下された金額と期待される効果のバランスがとれているか、また、どういった内容の支出であるのかが説明されている必要があると考えます。この視点から質問いたします。まず「コスト」の視点から見て非常に不透明なのが再開発ビル内に建設予定の新市民会館の事業です。市民会館の整備として約1000万円が計上されているのですが、この費用の内訳はどのようなもののでしょうか。

答： 鉄道騒音等を測定して、必要となる防震対策を検討するためのものです。



騒音調査がこれからというのは、駅近くの建設ということで、大きな支障もありうるということですか。

答： ホール建設につきましては、外からの騒音振動防止、また、ホールが外へだす振動防止の両面について検討を必要とします。



どのような舞台装置や整備になるかは、これからの検討委員会の基本構想、基本計画によるということであるならば、この施設に市としてどれくらいの予算をかけられるかは、現時点ではまったくわからないということですか。いちようホールの建設においては土地取得代を除いて約120億円かかっているのですが、その程度の費用がかかるかと思っていいのでしょうか。具体的に建設完成までの費用概算がわかっているならばお示しください。

答： 施設の内容によって異なるので試算することは適切でないと考えている。



金額が確かでない、立地にたいしても不安がある。どのような内容にするかもこれからである。いちようホールよりも規模の大きい2000人程度が収容できるホールを作ることに市民会館の建設の意義があるとするなら、費用的にも市の財政を大きく圧迫することは目に見えています。「コストの視点」から見て本当に必要なのでしょうか、はなはだ疑問です。次に「市民の視点」からの検証です。この市民会館の建設については、駅前再開発と一体となった整備をすることで賑わいを作りだし、八王子の顔として南北一体の活性化を図ることが求められているというご説明を聞いています。では何によってこの

賑わいを図るのでしょくか。そしてそれが市民会館の建設とどのような関係があるのでしょうか。昨年の市民会館の利用率は45%、年間173件の利用のうち、1500人規模以上の催しはわずか40件しかありませんでした。また、平成15年の第35回市政世論満足調査によれば、映画も含めた鑑賞の機会は年1、2回、年1回という人あわせて65%となっています。また、平成15年度調査にはない項目を少し古いですが平成10年の同じ調査から拾ってみると、公演に行く場所として23区内、多摩地区を挙げた割合は、20歳代で80%、30歳代で70%、40歳代で67%、50歳代で76%、60歳代でも60%となっています。こういった統計からみて、建設しようとしている市民会館の利用率をどの程度と予測しているのでしょうか。

答： 駅前という最高の立地を考えて、我々が目指すのは100%を目指さなければいけないんですけども、現実には他の類似施設と同程度以上、これを確保していきたい。

●基盤整備事業について



中央道インター北地区の基盤整備についてです。産業振興は市の重要な施策であることを認識していますが、中心市街地から3km程度の距離に設置されるこういった商業集積地区の実現可能性に疑問があります。つまりこの地区に人が集まるようになると、中心市街地の空洞化をより一層推し進めることになるのではないのでしょうか。丸井の撤退をはじめとした中心市街地の空洞化に対する活性化プランがもう少し見えてきてから、地権者との具体的な話し合い・了解、進出店舗の青写真等ができてから取り組んだとしてもおそくはありません。この事業の市民への説明としても、市報にたった一行書かれているだけです。市民会館にしる、商業集積地区の整備にしる、八王子の姿を大きく変える事業です。

よく市民の方から、知らないあいだにビルができて、地下駐車場ができて、といった声を聞きます。何をやっているのかよくわからないとも。このように市政が見えないということが低投票率の原因でもあるでしょう。市民にきちんと説明できないような事業は説明できるようになるまで取り組むべきでないと思うのですが、お考えは。

答： この地区のポテンシャルは非常に高く、この時期を逃すことなく、本市の活性化に寄与させていきたいと考えている。

●市民協働の推進について

紙面の都合上、省略。議会報告会にお出かけ下さい。議事録には掲載されます。

その他(時間が足りなくて質問できませんでした)

学力テスト、保育園待機児童対策、読書のまち八王子推進の専門性確保について、特別支援教育の推進、ごみ減量化に向けての合意形成など。

つくる つくろう みんなの居場所

— 陣内やすこの言ってきたこと、やってきたこと —

▶市民参画：市民が主役のまちづくり

- ・議会報告会の定例化
- ・投票所の改善要望
- ・なんでも生活市民相談（週1回）
- ・保育ママさんの現状打開策の模索
- ・働き続けられる保育所入所制度の要望
- ・道路の街路樹・公園清掃の要望
- ・ごみ有料化問題を地域の課題に（出前講座の開催）
- ・市民活動協議会会員



ごみ有料化の出前講座を実施

- ・審議会報酬・運営委員会報酬の受け取り拒否
- ・議員年金廃止を支持
- ・報酬の公開
- ・「つくる つくろう通信」発行（年4回以上）
- ・政党助成金廃止の意見書提出
- ・議会改革の推進

▶食の安全と健康：くらしといのちを守る

- ・地場野菜の朝市 開催
- ・病院見学会



地場野菜の販売です

▶居場所：生活の中のコミュニケーション

- ・居場所カレッジ開催
地域は人材の宝庫、
学びの場の提供
- ・みんなの居場所オープン
フリースペースとしての自由な
たまり場。おしゃべりしよう、
つながろう。



みんなの居場所がオープンしました

▶子育て・教育：「地域力」で人の成長を後押し

- ・余裕教室の地域開放の促進
- ・「特別支援教育」の理解と障がいのある子との暮らしを模索
- ・引きこもりの親のサポート
- ・待機児童解消に向けての提案
- ・保育所の民間委託の透明性を求めて請願支援
- ・上長房分校休校に疑問
分校の良さを認識しよう



高尾自然博物館の閉鎖が残念。自然教育の拠点を失います。

▶高齢者：きめ細かなサービスを

- ・高齢者配食サービスの改善・拡充要望
- ・介護保険制度の改善を求める請願支援



調布市にふれあい給食の見学です。子どもたちと同じメニュー。おいしかった。

▶議会：情報公開と説明責任の徹底

- ・市民の常識・議会の非常識をなくす
- ・永年勤続表彰制度の廃止要望

▶男女共同参画：女性の声を反映させる

- ・男女共同参画センターの支援・サポート
- ・女性外来の設置要望
- ・審議会等女性委員の参画推進



おんなの祭りに参加しました。

4月

みんなの居場所カレンダー

5月

（地域にひらかれたオープンスペース）

- 12日(月) 布の日①
- 13日(火) 議会報告会
- 14日(水) ゆっくり話そう
- 16日(金) 何でも生活市民相談②
- 19日(月) お茶の日③
- 20日(火) みんながってみんないい
- 21日(水) ゆっくり話そう
- 23日(金) 何でも生活市民相談

第3回
居場所カレッジ
(4月下旬予定)
自然とあることを
まえる
学芸員が語る
博物館の意義

- 1日(土) 引きこもり親の会
- 7日(金) 何でも生活市民相談
- 8日(土) 朝市④
- 10日(月) 布の日
- 12日(水) ゆっくり話そう
- 14日(金) 何でも生活市民相談

- ①毎週第2・4月曜日 2時～
- ②毎週金曜日 3時～
- ③毎週1・3月曜日 1時30分～
一服タイム 3時～
- ④毎週第2・4土曜日 10時～

第4回
居場所カレッジ
(5月下旬予定)
お産を語ろう、
つなげよう
助産士さんって
なあに？

絵手紙教室も
始まりました

やすこの活動日誌

- 1月5日 お茶事
 10日 物流拠点を考える学習会
 11日 ピースアクション
 12日 八王子の森林視察
 13日 調布市ふれあい給食視察
 17日 ロングロングピースウォーク
 18日 いま、教育が危ない(学習会)
 20日 三多摩議員ネット合宿
 21日 (年金・指定管理者制度・財政問題等学習会)
 22日 子どもと本と図書館 連続講座
 24日 教室の中の気になる子どもたち!
 25日 あなたのごみはハウマッチ?
 26日 廃棄物審議会傍聴
 28日 アクティブ市民大学
 29日 高嶺小学校 道徳授業公開講座
 30日 市川房枝記念会プログラム
 2月2日 平成16年度予算説明会
 3日 第20回財政学校
 4日 会派代表者会懇談会
 9日 少子高齢化特別委員会
 13日 会派代表者会
 14日 アクティブ市民大学
 15日 ふれあいフォーラム
 16日 厚生水道委員会
 17日 議員研修
 18日 文教経済委員会
 第1回居場所カレッジ(知的財産について)
 19日 大横福祉センター運営協議会
 20日 全員協議会
 21日 容器包装リサイクル法街頭アクション
 再開発に市民の意見を反映させよう!(学習会)
 22日 市民企画事業プレゼンテーション
 24日 議会運営委員会
 26日 会派代表者会
 27日 本会議(1日目)
 28日 第2回居場所カレッジ(シネマ&トーク)
 29日 はちバス東部コース運行記念式典
 3月1日 総務企画委員会
 2日 文教経済委員会
 4日 本会議(2日目)
 5日 本会議(3日目)
 6日 三多摩自治体学校
 7日 市民の政治を考える三多摩フォーラム
 9日 予算等特別委員会
 10日 予算等特別委員会
 11日 予算等特別委員会
 12日 厚生水道委員会分科会
 13日 女のまつり
 14日 学校図書館について考えましょう
 15日 厚生水道委員会分科会
 16日 文教経済委員会分科会
 17日 文教経済委員会分科会
 18日 市民活動協議会会員交流会
 19日 中学校卒業式
 20日 男女共同参画理解講座(世田谷)「ロバート・イース」
 21日 ピースアクション in 横田
 22日 上長房分校訪問
 23日 予算等特別委員会
 24日 小学校卒業式
 「市民のための財政講座」
 25日 本会議
 26日 本会議(一般質問 *陣内)
 29日 本会議(一般質問)
 30日 高尾自然博物館視察
 学園都市文化ふれあい財団評議会

議会報告会(カフェミーティング)

誰でもお気軽にお出かけください。「こんなことが言いたい」「ここがわからない」、ざっくばらんに市政について話しましょう。

- 日時** 4月13日(火) 14時から (於 みんなの居場所)
 4月13日(火) 18時から
 (於 カフェケン北野駅南口すぐ)

インフォメーション



こんな活動あります。
 ご関心のある方は、ご参加下さい。

働く犬を支援する会

私たちは、「働く犬」いわゆる補助犬(聴導犬、盲導犬、介助犬)とセラピー犬達の仕事振りに影から声援を送りつつ、彼らに必要なとされる様々な補助的支援と働く犬の啓発普及を目的に「働く犬を支援する会」を設立いたしました。

主な活動:

- 各補助犬育成施設の育成方針を尊重しつつ、補助犬使用者と共に考える「働く犬」達に必要なサービス。: シャンプー、使用者や犬にありがたい場所などの情報提供、犬のケアに関するご相談など……
- 補助犬育成の為に寄付を目的とした募金活動。
- 補助犬の啓発活動:
 - 一般向け盲導犬使用者歩行誘導講習会
 - 補助犬に関する講演会
 - 盲導犬使用者による講演……など開催。
- 補助犬使用者による作品および犬の必需品グッズ販売

詳しくは下記にお問い合わせください。

NPO(特定非営利活動)法人「働く犬を支援する会」

<http://www.hatainu.com/>

〒254-0082 神奈川県平塚市東豊田594-32

(八王子支部: 芹澤 0426-36-2978)

居場所カレッジ 第1回 報告 「暮らしの中の知的財産権」

居場所カレッジの初回の試みとして、2月18日(水)午後7時~9時に長年企業で知的財産に関する業務に携わって来られた大河原敏男氏(北野台5丁目在住)に「暮らしの中の知的財産権」というタイトルでお話をしていただいた。日本の活路として技術創造立国と知的財産立国を目指しているなかで、日常の暮らしの上でどのような配慮が必要か、新聞記事などをコピーする場合や電子メール・インターネットなどの媒体で情報を送受信する場合に著作権に関してどのように留意すべきかなどのお話を中心であった。日頃聞き慣れない言葉が飛び交う分野であるが、関心を持つことが必要になってきたことを実感させてくれたと受講者から好評だった。今後も要望があれば「知的財産権」に関して、お話を頂けるという承諾を受けています。

第2回 居場所カレッジ シネマ&トーク「ガールファイト」
 (終了) 思春期の女の子の生き方を考える

第3回 居場所カレッジ 自然と一緒にあることを考える
 (4月下旬予定) 学芸員が語る博物館の意義

第4回 居場所カレッジ お産を語ろう、つなげよう
 (5月下旬予定) 助産士さんってなあに?